

DSSシリーズ 取扱説明書

この度は、ボンコート製はんだこてDSSシリーズをお求め頂き誠にありがとうございます。
この説明書をお読みになり、正しくご使用下さるようお願い致します。

DSS-140A



DSS-140B
DSS-165



DSS-1100



■ 使用上の注意

- 濡れた手で触らないで下さい。感電事故の危険性が有ります。
- こて先は高温になっている為、火災・火傷に注意して下さい。
- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 製品の分解や改造を行わないで下さい。火災・故障・感電等の原因になります。
- 製品のメンテナンス(こて先・ヒーター・ヒーターカラー等)を行こなう際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、こて先が冷めた事を確認してから行って下さい。
- 交換部品(こて先・ヒーター・ヒーターカラー等)は、必ず純正部品をご使用下さい。
- 純正部品以外の部品を使用すると故障の原因になります。

■ 2線式(2PNN・2EPVコード)の仕様

※全長・重量はコード部除く

型番	消費電力	入力電圧	制御方式	標準こて先	制御温度	絶縁抵抗	全長(mm)	重量(g)
DSS-140A-2PNN	40W	AC100V	ゼロボルト スイッチング P制御	SG7-2C	50~ 500℃	20MΩ 以上	270	94
DSS-140B-2PNN				SG10-8BC			274	106
DSS-165-2PNN	65W			SGP10-8BC			274	103
DSS-1100-2PNN	100W			SG12-10BC			300	140
DSS-240A-2EPV	40W	AC220V	ゼロボルト スイッチング P制御	SG7-2C	50~ 500℃	20MΩ 以上	270	94
DSS-240B-2EPV				SG10-8BC			274	106
DSS-265-2EPV	65W			SGP10-8BC			274	103
DSS-2100-2EPV	100W			SG12-10BC			300	140

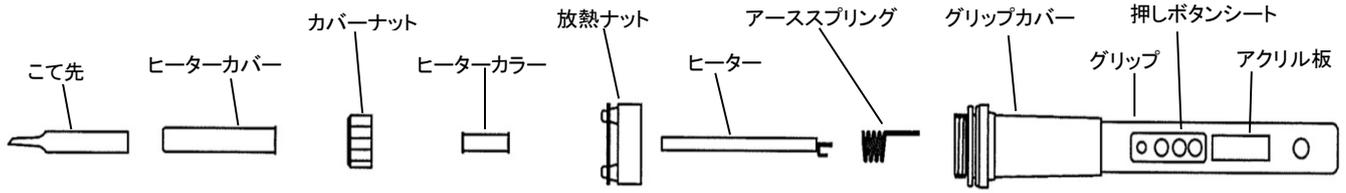
■ 3線式(3PCHI・3EPVコード)の仕様

※全長・重量はコード部除く

型番	消費電力	入力電圧	制御方式	標準こて先	制御温度	リーク電圧	アースライン抵抗	全長(mm)	重量(g)
DSS-140A-3PCHI	40W	AC100V	ゼロボルト スイッチング P制御	SG7-2C	50~ 500℃	2.0mV 以下	2.0Ω 以下	270	94
DSS-140B-3PCHI				SG10-8BC				274	106
DSS-165-3PCHI	65W			SGP10-8BC				274	103
DSS-1100-3PCHI	100W			SG12-10BC				300	140
DSS-240A-3EPV	40W	AC220V	ゼロボルト スイッチング P制御	SG7-2C	50~ 500℃	2.0mV 以下	2.0Ω 以下	270	94
DSS-240B-3EPV				SG10-8BC				274	106
DSS-265-3EPV	65W			SGP10-8BC				274	103
DSS-2100-3EPV	100W			SG12-10BC				300	140

(注)リーク電圧、アースライン抵抗は初期値です。

■構造



電源プラグ形状



■交換部品

型番	消費電力	入力電圧	交換ヒーター	対応くて先	ヒーター カバー	カバー ナット	ヒーター カラー	放熱 ナット	アース スプリング							
DSS-140A-2PNN	40W	AC100V	CES-100-40E	SG7 シリーズ	HCL-7	CN-7	SUC-10	NA-11D								
DSS-140A-3PCHI									ECS-5							
DSS-240A-2EPV									AC220V	CES-220-40E	ECS-5					
DSS-240A-3EPV											ECS-5					
DSS-140B-2PNN		AC100V	CES-100-40E						SG10 シリーズ	HC-10	CN-10	SUC-10	NA-11D			
DSS-140B-3PCHI														ECS-5		
DSS-240B-2EPV														AC220V	CES-220-40E	ECS-5
DSS-240B-3EPV																ECS-5
DSS-165-2PNN	65W	AC100V	CES-100-65E	SGP10 シリーズ	HC-10	CN-10	SUCP-10	NA-20D								
DSS-165-3PCHI									ECS-5							
DSS-265-2EPV		AC220V	CES-220-65E						ECS-5							
DSS-265-3EPV									ECS-5							
DSS-1100-2PNN	100W	AC100V	CES-100-100E	SG12 シリーズ			HC-12	CN-12	SUC-12	NA-30D						
DSS-1100-3PCHI											ECS-5					
DSS-2100-2EPV		AC220V	CES-220-100E								ECS-5					
DSS-2100-3EPV											ECS-5					

共通部品

- ・グリップカバー:GC-R
- ・グリップ:GK-DS
- ・押しボタンシート:DS-STR
- ・アクリル板:DS-AK

当社製、計測器・くて台も合わせてご利用下さい。



くて先温度計
本体:MCA-900 II
測定部:SAT-1
交換センサー:SC-006



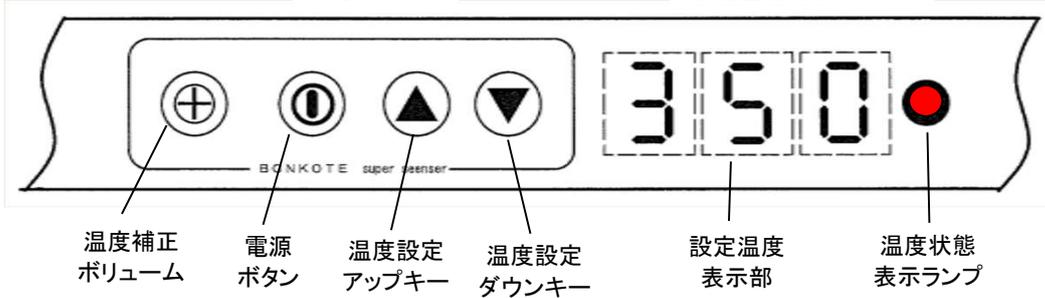
くて台

BON-11

■ 使用方法

押しボタン

設定温度表示部



- ・点滅: 温度上昇中
- ・点灯: 作業適温
- ・消灯: 温度降下中または電源切れか待機中

温度補正
ボリューム

電源
ボタン

温度設定
アップキー

温度設定
ダウンキー

設定温度
表示部

温度状態
表示ランプ

1. はんだこてと接続する電源の電圧が同じであることを確認してください。電源プラグをコンセントに差込みます。設定温度表示部に「---」の表示が出たら、はんだこてに通電され待機状態になっております。
2. 電源ボタンを3秒以上の長押しをして下さい。初期設定温度「350」が表示されヒーターに電源が入ります。表示されたら電源ボタンを離します。
3. 設定温度の変更は、温度設定アップキーかダウンキーを寸押し、または長押しで行います。寸押しは1℃単位、長押しは10℃単位で変化します。
4. 設定温度を大幅に変更した時の温度状態表示ランプは、次の様になります。
2度目の点灯になったら作業適温です。
 - ・設定温度を高くした時: 点灯→点滅→点灯
 - ・設定温度を低くした時: 点灯→消灯→点灯
5. 温度補正ボリュームは、設定温度と、こて先・先端の温度の差を補正する事が出来ます。ボリュームのまわす幅には限度がありますのでご注意ください。
 - ・右回し: こて先の温度が高くなる。
 - ・左回し: こて先の温度が低くなる。
 ※ 温度補正ボリュームは初期の位置から左右に120度まわります。
6. こて先温度計を用いた、こて先温度の測定は、温度状態表示ランプが点灯に変わってから5分後に行うと、誤差の少ない値が求められます。
7. 作業終了後は、電源ボタンを3秒以上の長押しをしてください。設定温度表示部が「---」の表示になり温度状態表示ランプは消灯になります。表示部を確認したらボタンを離します。再起動時の設定温度は最後の設定温度から始まります。
8. 長期間はんだこてを使用しない場合でも、再起動時の設定温度は最後の設定温度から始まります。
9. 設定温度のロックは、アップキーとダウンキーの同時長押し3秒以上で成立します。再度同じ操作で解除されます。

温度補正ボリューム



精密十ドライバー使用

- ◆ 立ち上げ時は、安定時を経過してから使用されることをお奨めいたします。
- ◆ 各々の標準サイズこて先を使用時の設定温度毎の室温から安定までの時間を右の表に示します。
- ◆ 温度状態表示ランプが点滅を始めたら温度上昇中で、点灯に変わったら作業適温を表します。こて先が熱い時に再起動しても、ランプの見方は同じです。
- ※ 但し、DSS-1100は温度上昇が遅く、右の時間経過後が作業適温です。

設定温度	安定までの時間(秒)		
	250℃	350℃	450℃
DSS-140A	35	60	100
DSS-140B	40	75	140
DSS-165	40	75	140
DSS-1100	150	180	210

■ こて先及びヒーター交換方法

はじめに電源コードをコンセントから抜き、こて先が冷えている事を確認してから始めて下さい。

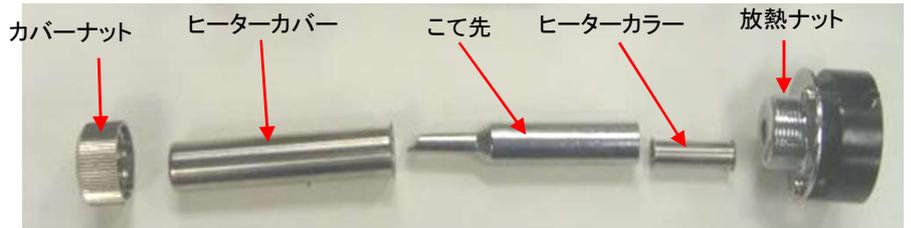
■こて先交換

1. カバーナット、ヒーターカバー、こて先の順に分解します。
2. 組込は、こて先、ヒーターカバー、カバーナットと、逆の順に行います。



■ヒーター交換

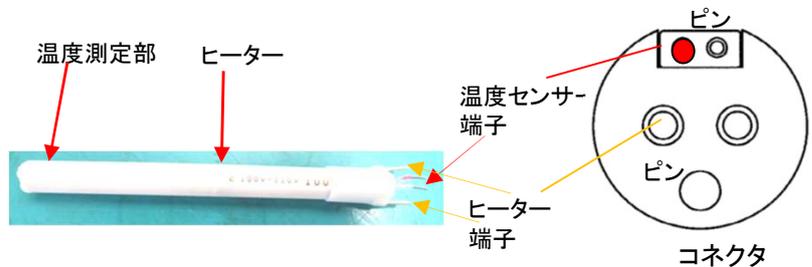
1. カバーナット、ヒーターカバー、こて先、ヒーターカラー、放熱ナットの順に外します。



2. ヒーター端子と温度センサー端子を、コネクタのピンから抜き取ります。

※コネクタがグリップから抜け出さない様に、抑えながら行います。

3. 新しいヒーターの温度センサー端子をコネクタのピンに挿入します。温度センサーには極性があるので、温度センサー端子とピンの赤マークを合せて下さい。



4. ヒーター端子をコネクタのピンに挿入します。

5. 放熱ナット、ヒーターカラー、こて先、ヒーターカバー、カバーナットの順に組み込みます。

ヒーターの接続



■ トラブルシューティング

現象	確認事項	推定原因	処置
長期間使用後通電されない	「---」(通電)の表示が出ていない	電源コードの断線か基板の故障	故障・修理
長期使用後こてが熱くならない	「E r 1」(エラー1)の表示が出ている	温度測定部の断線	ヒーターの交換
長期使用後こてが熱くならない	「E r 3」(エラー3)の表示が出ている	ヒーターの断線	ヒーターの交換
温度が設定温度に達しない	温度補正を行ったか	温度補正の未実施	温度補正の実施
ヒーター交換後こてが熱くならない	「E r 2」(エラー2)の表示が出ている	温度センサー極性士が逆になっている	極性士の合わせ
設定温度が変えられない	「350」(設定温度)の表示が出ている	設定温度のロックが入っている	ロックの解除

■ 保証について

当社の製品は厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、あるいは運送中の事故等による故障を発見されましたら、お買い上げ頂きました販売店または、弊社までご連絡下さい。

■ アフターサービスについて

本機をご使用の際、調子が悪いと思われた時は、この説明書をもう一度ご覧になってお調べ下さい。それでも調子が戻らない場合は、お買い上げ頂きました販売店または、弊社までご連絡下さい。

日本ボンコート株式会社

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町600-14

TEL 029-241-2725

FAX 029-241-2726

<http://bonkote.co.jp>

Email: info@bonkote.co.jp